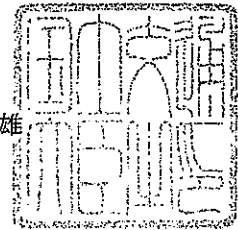


認 定 書

国住指第1130号
平成 17年 9月 5日

三菱マテリアル建材株式会社
代表取締役 山村 洋司 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第30条及び同法施行令第22条の3(界壁の遮音構造)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

SOI-0074

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

グラスウール又はロックウール充填／片面繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板張自立
鋼製下地・片面せっこうボード重張軽量鉄骨下地／独立間仕切壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

グラスウール又はロックウール充填／片面繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板張自立
鋼製下地・片面せっこうボード重張軽量鉄骨下地／独立間仕切壁

2. 寸法および面密度等

(寸法単位：mm)

項 目	構 造 方 法
壁 厚	152.0～187.0
面 密 度 (一般断面)	77.4 kg/m ² 以上

3. 材料構成

3.1 繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板

1) 主構成材料

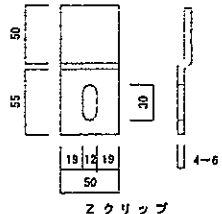
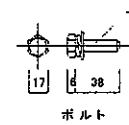
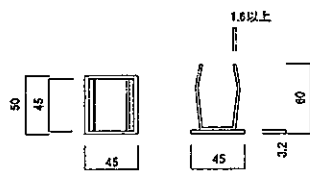
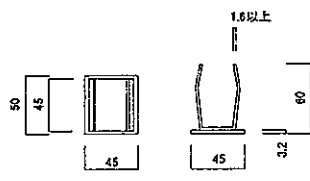
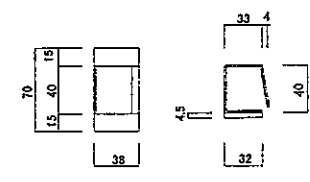
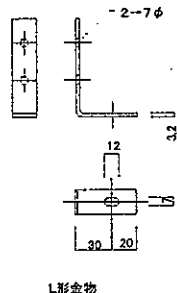
(寸法単位：mm)

項 目	構 造 方 法
①面材	繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板 ・規格 JIS A 5441 ・質量 面密度 63.0～67.0 kg/m ² ・寸法 厚さ 60(±1.5) 幅 300～1,200(+0,-2) 長さ 5,000(+0,-2)以下
②鋼製下地	アングル (取付金物：Zクリップ) ・規格 JIS G 3192 に規定する防錆処理したもの、若しくはこれに準ずるもの ・寸法 L75×75×6 以下 フラットバー (取付金物：Uクリップ又はGクリップ) ・規格 JIS G 3194 に規定する防錆処理したもの、若しくはこれに準ずるもの ・寸法 FB-6×44 以下 ランナ ・規格 JIS A 6517、JIS G 3302 に規定する防錆処理したもの、若しくはこれに準ずるもの ・寸法 [－66×40×2.3 以下

(別添－1)

2) 副構成材料

(寸法単位: mm)

項 目	構 造 方 法
①取付金物	1) Zクリップ Zクリップ ・規格 JIS G 3101、JIS G 3111、JIS G 3131 に規定する防錆処理したもの、 若しくはこれに準ずるもの ・寸法 厚さ 4~6×幅 50 以上  Zクリップ
	ボルト ・規格 JIS B 1180 に規定する防錆処理したもの、 若しくはこれに準ずるもの ・寸法 M10 以上  ボルト
	角ナット ・規格 JIS G 3101、JIS G 3111、JIS G 3131 に規定する防錆処理したもの、 若しくはこれに準ずるもの ・寸法 厚さ 6×幅 32×60 以上  Uクリップ
	2) Uクリップ ・規格 JIS G 3101、JIS G 3111、JIS G 3131 に規定する防錆処理したもの、 若しくはこれに準ずるもの ・寸法 厚さ 1.6×幅 45 以上  Uクリップ
	3) Gクリップ ・規格 JIS G 3101、JIS G 3111、JIS G 3131 に規定する防錆処理したもの、 若しくはこれに準ずるもの ・寸法 厚さ 1.6×幅 38 以上  Gクリップ
	4) L 形金物 L 形金物 ・規格 JIS G 3192 に規定する防錆処理したもの、 若しくはこれに準ずるもの ・寸法 厚さ 3.2×幅 20 以上  L形金物
	タッピンねじ ・規格 JIS B 1122、JIS B 1125 に 規定する防錆処理したもの ・寸法 3.5φ×32 以上
②鋼製下地 固定金物	1) コンクリート下地 コンクリートくぎ ・寸法 4.0φ×25 以上 発射打込み釘 ・規格 JIS A 5529 ・寸法 3.6φ×19 以上 アンカーボルト ・寸法 4.0φ×25 以上 六角ボルト ・規格 JIS B 1180 に規定する防錆処理したもの ・寸法 M6.0 以上
	2) 鉄骨下地 タッピンねじ ・規格 JIS B 1122、JIS B 1125 に規定する防錆処理したもの ・寸法 3.0φ×20 以上 溶接

③目地処理材	1) シーリング材 アクリル系、ポリウレタン系、ポリサルファイド系、変成シリコン系 ・規格 JIS A 5758 に規定するもの、若しくはこれに準ずるもの ・使用量 100 g/m 以上 2) バックアップ材 ・規格 JIS A 9511 に規定するもの、若しくはこれに準ずるもの
④充填材	1) 無機質充填材 ・規格 JIS A 6301、JIS A 9504 に規定するもの、若しくはこれに準ずるもの 2) 有機質充填材 ・規格 JIS A 9511 に規定するもの 3) シーリング材 アクリル系、ポリウレタン系、ポリサルファイド系、変成シリコン系 ・規格 JIS A 5758 に規定するもの若しくはこれに準ずるもの
⑤パッキング材	ロックウールフェルト ・質量 密度 150(±30) kg/m ³ ・寸法 厚さ 10×幅 15 以上 グラスウールマット、ロックウール保温板 ・質量 密度 120(+40,-20) kg/m ³ ・寸法 厚さ 10×幅 15 以上 ウレタン系、発砲ポリエチレンフォーム ・質量 密度 80 kg/m ³ 以上 ・寸法 厚さ 10×幅 15 以上

3.2 せっこうボード

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	構 造 方 法
①面材	上張りせっこうボード ・規格 QM-9828、JIS A 6901 ・質量 面密度 5.7～8.6 kg/m ² ・寸法 厚さ 9.5(±0.5) 幅 910(+0,-3) 長さ 1820～3640(+3,-0) ・端部形状 スクエア、ベベル、テーパー 下張りせっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・質量 面密度 7.5～11.3 kg/m ² ・寸法 厚さ 12.5(±0.5) 幅 910(+0,-3) 長さ 1820～3640(+3,-0) ・端部形状 スクエア、ベベル、テーパー
②充填吸音材	グラスウール ・規格 JIS A 6301、JIS A 9504 ・質量 密度 24 kg/m ³ 以上 ・寸法 厚さ 50 以上 ロックウール ・規格 JIS A 6301、JIS A 9504 ・質量 密度 40 kg/m ³ 以上 ・寸法 厚さ 40 以上

③上下ランナ	・規格 JIS A 6517、JIS G 3302 に規定する防錆処理したもの、若しくはこれに準ずるもの ・寸法 $[- 52 \sim 92 \times 40 \times 0.6 \sim 0.8]$
④スタッド	・規格 JIS A 6517、JIS G 3302 に規定する防錆処理したもの、若しくはこれに準ずるもの ・寸法 $[- 50 \sim 90 \times 45 \times 0.6 \sim 0.8]$
⑤振れ止め	・規格 JIS A 6517、JIS G 3302 に規定する防錆処理したもの、若しくはこれに準ずるもの ・寸法 $[- 19 \sim 25 \times 10 \times 1.2]$

2) 副構成材料

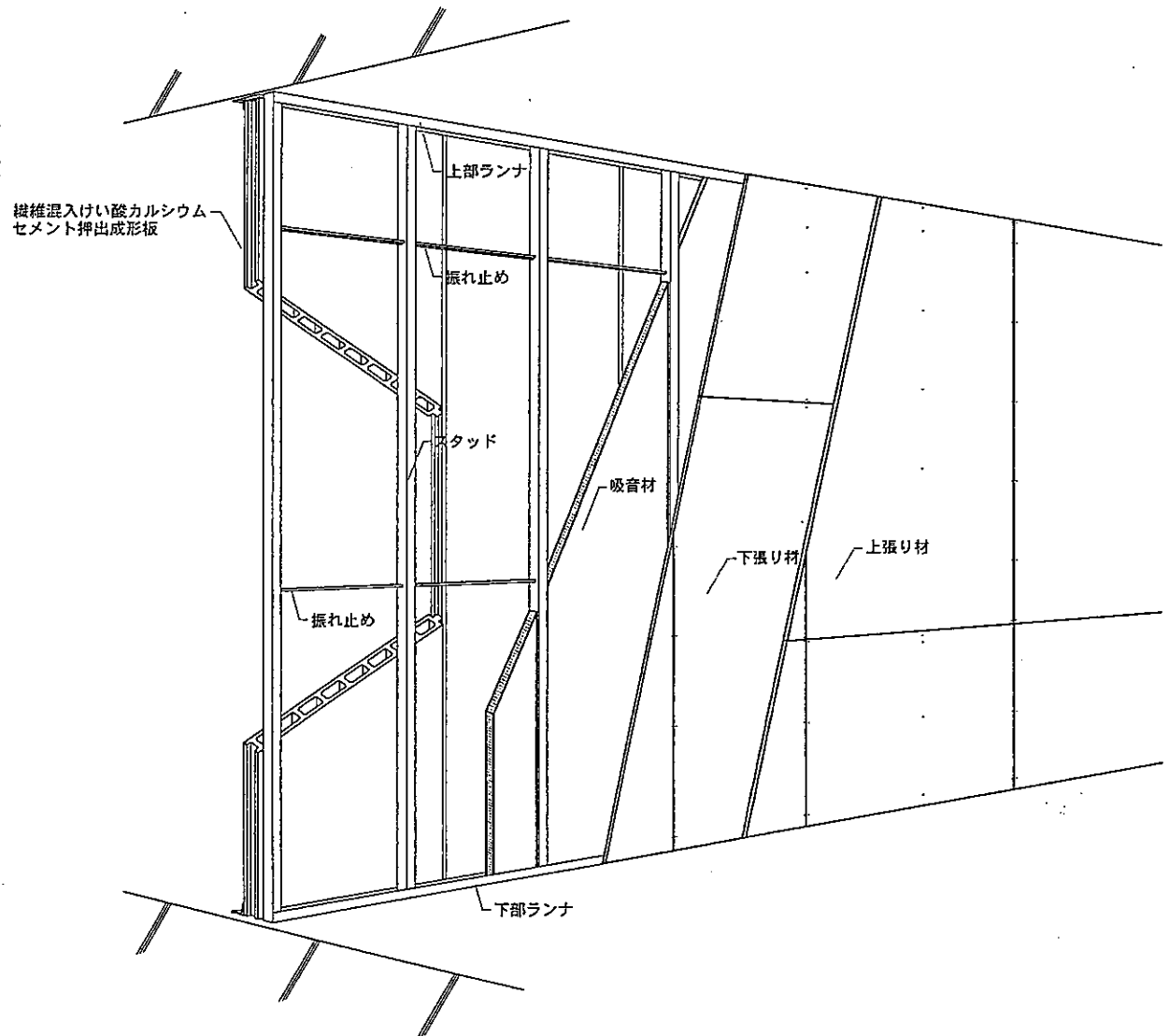
(寸法単位：mm)

項 目	構 造 方 法
①取付金物	タッピンねじ ・規格 JIS B 1122、JIS B 1125 に規定する防錆処理したもの ・寸法 $3.0 \phi \times 25$ 以上 ステーブル ・規格 JIS A 5556 に規定する防錆処理したもの、若しくはこれに準ずるもの ・寸法 幅 $4 \times$ 長さ 13 以上
②接着剤 (上張り面材用)	1) 接着剤 酢酸ビニル樹脂系、無機質系、合成ゴム系、エポキシ系 ・規格 JIS A 5538 に規定するもの、若しくはこれに準ずるもの ・塗布量 $100 \sim 200 \text{ g/m}^2$ 2) 両面粘着テープ アクリル粘着剤 ・寸法 厚さ $1 \times$ 幅 25 貼付け間隔 300 以内
③ランナ 固定金物	1) コンクリート下地 コンクリートくぎ ・寸法 $4.0 \phi \times 20$ 以上 発射打込み釘 ・規格 JIS A 5529 ・寸法 $3.6 \phi \times 19$ 以上 2) 鉄骨下地 タッピンねじ ・規格 JIS B 1122、JIS B 1125 に規定する防錆処理したもの ・寸法 $3.0 \phi \times 20$ 以上 溶接
④目地処理材	せっこう系、炭酸カルシウム系 ・規格 JIS A 6914 に規定するもの、若しくはこれに準ずるもの
⑤充填材	せっこう系 ・規格 JIS A 6914、JIS A 6904 ロックウール ・規格 JIS A 6301、JIS A 9504 発泡プラスチック保温材 ・規格 JIS A 9511
⑥シーリング材	アクリル系、ポリウレタン系、ポリサルファイド系、変成シリコン系 ・規格 JIS A 5758 に規定するもの、若しくはこれに準ずるもの

4. 構造説明図

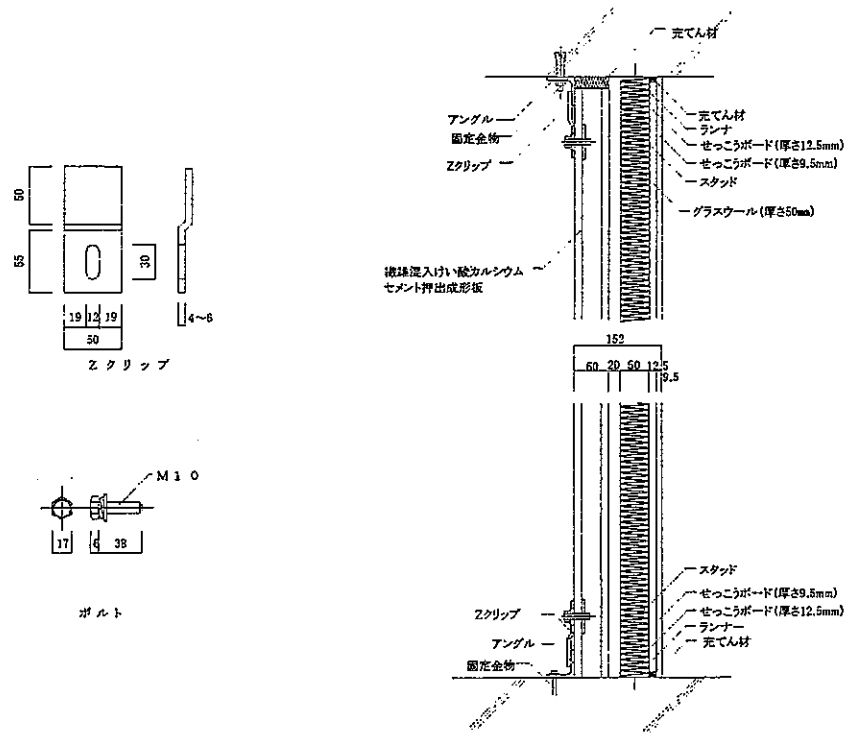
(寸法単位： mm)

・見取図

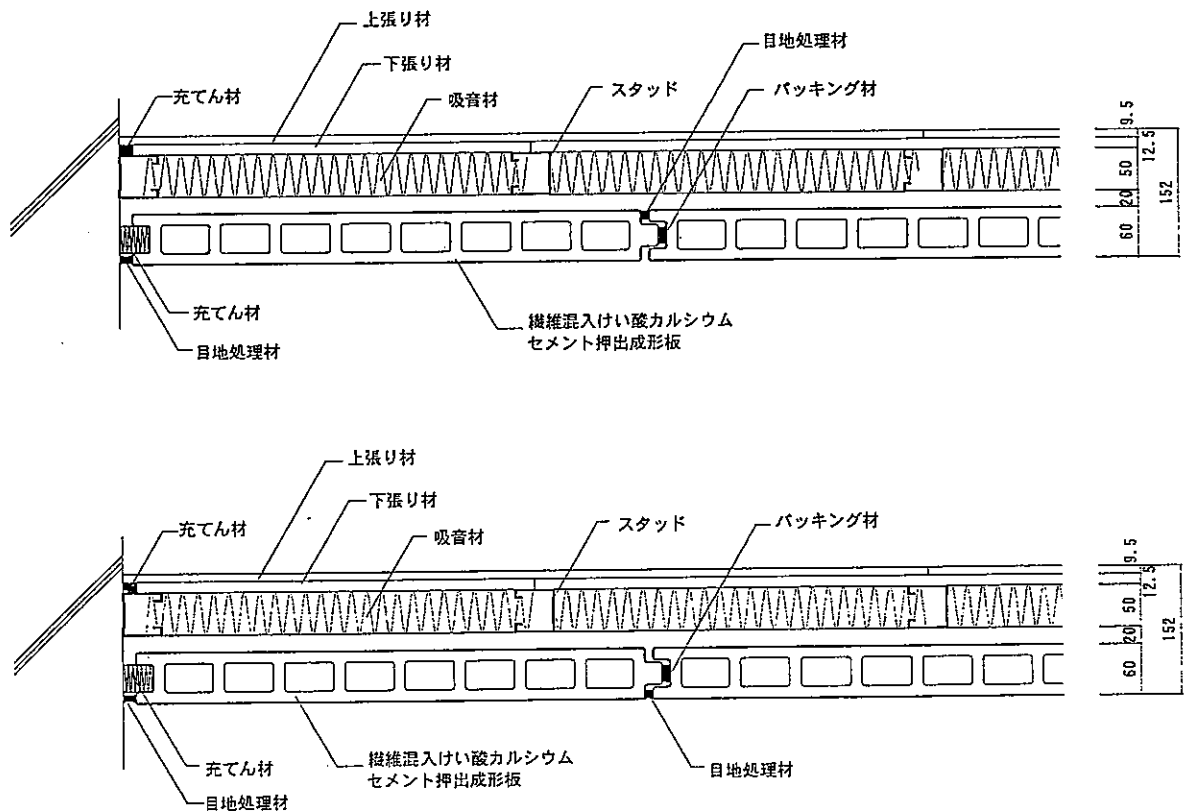


(寸法単位：mm)

・垂直断面図

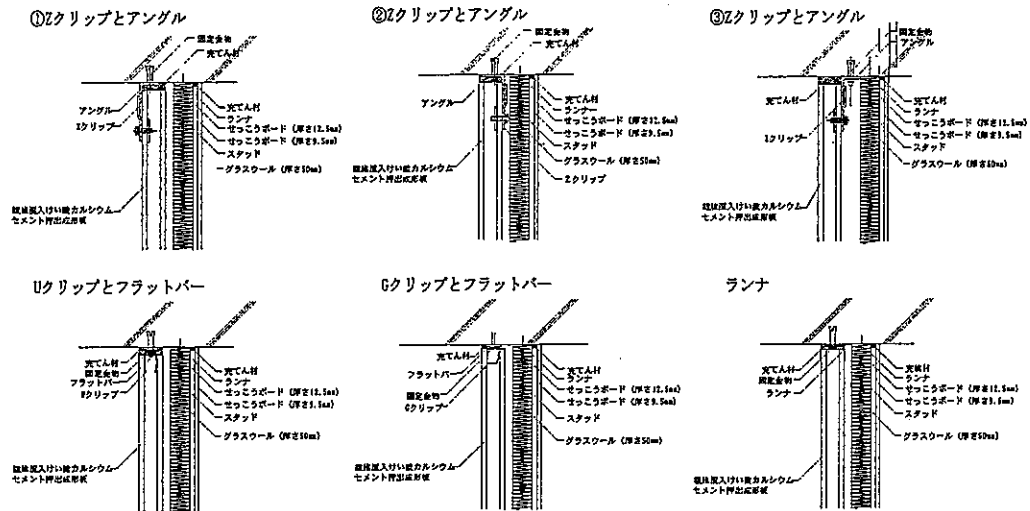


・水平断面図

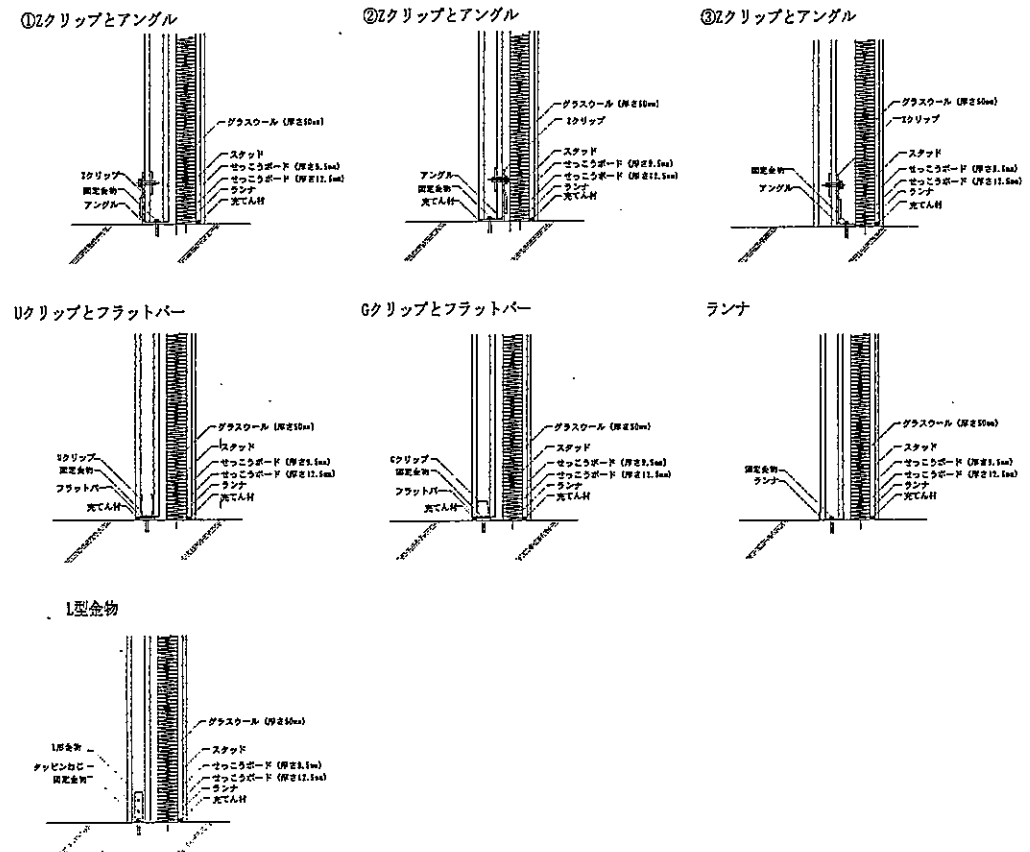


(寸法単位：mm)

・その他の鋼製下地、取付金物による上部の建込み方法



・その他の鋼製下地、取付金物による下部の建込み方法



5. 標準施工仕様

5.1 繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板（以下「押出成形板」という。）の施工

1) 墨出し

間仕切壁を設置する水平、垂直面及び割付け位置の墨出しを正確に行う。

2) 鋼製下地の取付け

鋼製下地は墨出し線にあわせ、コンクリート下地にはコンクリート釘又は発射打込み鋌、アンカーボルト、六角ボルトにて、鉄骨下地には予め取付けたピース受け金物を介してタッピンねじ又は溶接にて、それぞれ 1000 mm 以内の間隔で取付ける。但し、スラブ面との間に隙間が生ずる恐れがある場合には、充填材、シーリング材等による隙間処理を行う。

3) 押出成形板の建込み

予め押出成形板の本実凹部にはパッキング材を挿入する。

① 建込みに Zクリップを使用する場合

平置きした押出成形板の長手方向の上又は上下に Zクリップ取付け用のボルト穴（上下各 2 ケ所）をあけ、押出成形板の中空部に角ナットを挿入し、Zクリップをボルトで仮留めする。

押出成形板を建込み位置に配置し、Zクリップをアングル下地に仮締めしながら、目地幅 10 mm で順次建込み、垂直、水平、割付け、目通りを確認した後 Zクリップを本締めする。

② その他の鋼製下地、取付金物を使用する場合

別添 7 に示した、その他の鋼製下地、取付金物を使用して建込む場合は、遮音性能上の欠損に繋がる隙間が生じないように十分注意して建込む。

4) 取合い部の隙間処理

押出成形板と上下スラブ、梁、柱の取合い部は、無機質充填材又はシーリング材を隙間のないよう充填する。但し、下スラブ面へのアングルを用いた建込みの一部、L 型金物及びランナによる建込みについては、原則として充填材、シーリング材による隙間処理は行わない。

5) 目地処理

押出成形板の継目は、片面側の目地のみシーリング材を隙間なく充填する。必要に応じてバックアップ材を使用する。

6) 表面仕上

防火上支障の無い、吹き付け、塗装、クロス等の材料で仕上げる。

5.2 せっこうボードの施工

1) 墨出し

押出し成形板から 20 mm 以上離し、間仕切壁を設置する水平、垂直面に正確に墨出しを行う。

2) 上下ランナの取付け

上下ランナは墨出し線にあわせ、コンクリート下地にはランナ固定金物にて、鉄骨下地にはランナ受けピース等を介してタッピンねじ又は溶接等にて、それぞれ 1000 mm 以内の間隔で取付ける。

3) スタッドの取付け

予め所定の寸法に切断したスタッドを、約 455 mm 以内の間隔で上下ランナに建込み、振れ止めを約 1200 mm の間隔でスタッドに挿入する。

4) 吸音材の取付け

スタッドの取付け後、スタッド間に吸音材を挿入する。

5) 下張りボードの取付け

下張りボードは、タッピンねじにて 455 mm 以内の間隔でスタッドに留付ける。

6) 上張りボードの取付け

上張りボードは、その目地が下張りボードの目地と重ならぬよう割付け、タッピンねじにて 455 mm 以内の間隔で留付ける。ステーブルにより取付ける場合には、接着剤（点付け塗布 100～200 g/m²）又は、両面粘着テープ（貼付け間隔 300 mm 以内）を併用し 200 mm 以内の間隔で留付ける。

7) 取合い部の隙間処理

間仕切壁と床スラブ、梁、柱との取合い部は、下張りボードにおいてシーリング材を隙間なく充填する。

8) 目地処理

上張りボードの目地は、目地処理材を用いて隙間なく平滑に仕上げる。

9) 表面仕上げ

防火上支障の無い、吹き付け、塗装、クロス等の材料で仕上げる。